DENON

デジタルコントローラー アンド メディアプレーヤー

DN-SC2900 クイックセットアップガイド

クイックセットアップガイドについて

このクイックセットアップガイドでは、本機の代表的な接続と使用例、および本機をパソコンに接続して engine の操作ができるようにセットアップする手順の概要を説明しています。各接続や操作の詳細については、取扱説明書および engine 操作説明書をご覧ください。

❑マークについて

☞ このマークは、関連情報を記載している参照先のページをあらわします。

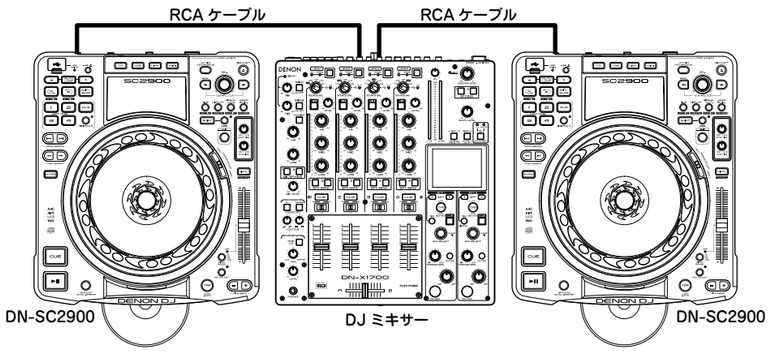
Owner's Manual このマークは、付属の Resource CD-ROM に入っている本機の取扱説明書の記載項目をあらわします。

engine このマークは、付属の Resource CD-ROM に入っている音楽管理ソフトウェア engine 操作説明書の記載項目をあらわします。

このマークは、補足説明や操作上のアドバイスをあらわします。

CD プレーヤーとして使用する

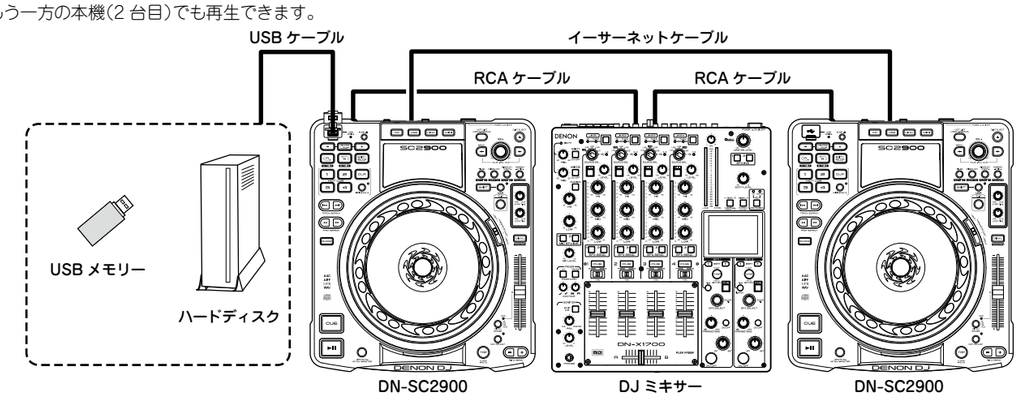
本機 2 台を RCA ケーブルで DJ ミキサーと接続し、CD プレーヤーとして使用します。
接続方法は、Owner's Manual 14 ページの「基本的な接続」をご覧ください。



USB 機器を使用する (Player Link 機能を使って USB メモリーやハードディスク内の音楽ファイルを共有する)

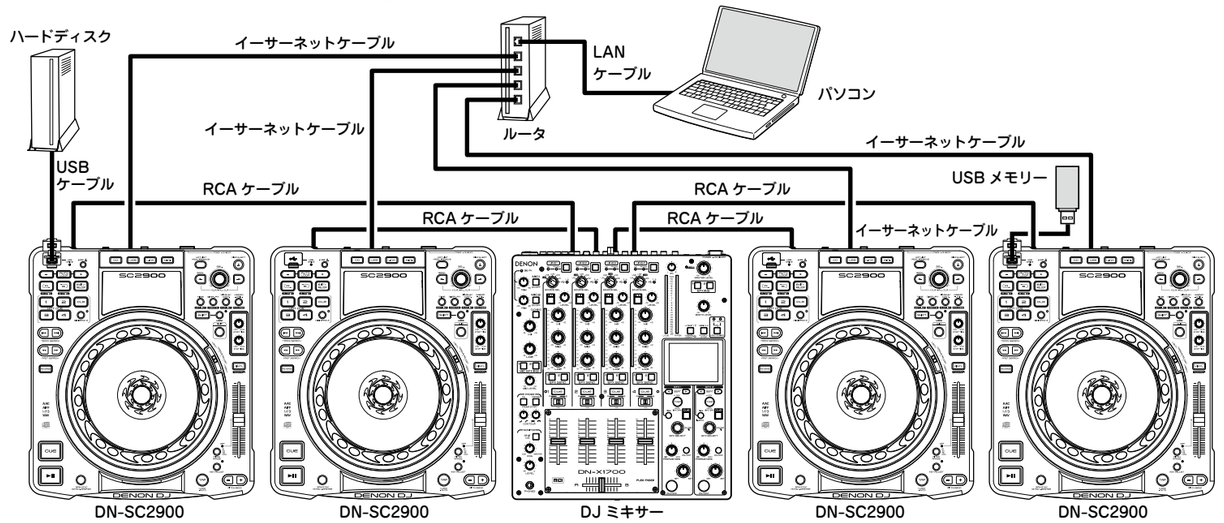
USB メモリーやハードディスクに保存している音楽ファイルを再生するメディアプレーヤーとして使用します。
接続方法は、Owner's Manual 14 ページの「基本的な接続」をご覧ください。

- 本機 2 台をイーサーネットケーブルで接続し、Player Link 機能を使用することで、本機(1 台目)に接続した USB メモリーやハードディスク内の音楽ファイルをもう一方の本機(2 台目)でも再生できます。



engine を使用する

engine の高度な検索機能を使用できます(☞engine 20 ページ)。



ご注意

- ルータが起動してから DN-SC2900 をルータに接続し、パソコンの電源をオンにしてください。
- ルータをインターネットや WAN に接続しないでください。再生音が途切れたり、機器同士を正しく接続できない場合があります。
- ルータを使用せずにパソコンと本機を直接接続することもできます。
  その場合は、パソコンのネットワークアドレスの設定は固定 IP アドレスにし、IP アドレス：169.254.0.1 / サブネットマスク 255.255.0.0 に設定してください。
- 4 台の本機をパソコンと接続する場合は、LAN ポートが 5 つ以上あるルータまたは LAN 用ハブを使用して接続してください。
- ルータを使用して接続する場合、本機とパソコンは LAN ポートに接続してください。

engine の主な特長

❑マルチプレーヤー／マルチストレージによる再生が可能

本機と engine をインストールしたパソコンをイーサーネットケーブルで接続することにより、engine の高度な検索機能を使用してパソコン、USB メモリーおよびハードディスクに保存している音楽ファイルを切り替えながら再生できます。

❑最大 100,000 件の音楽ファイルの管理と高速検索エンジン

1 つの USB メモリーまたは 1 台のハードディスクにつき最大 100,000 件の音楽ファイルの管理が可能です。また、新開発の検索システムによって、高速で多機能なファイル検索を実現しています。

❑レイテンシの少ない動作環境

音声の処理をパソコンを使わずに本機でおこなうため、レイテンシが少なく快適な DJ 演奏をおこなえます。また、本機に USB メモリーやハードディスクを接続すると、パソコンがフリーズした場合などでも再生を中断せずに続けることができます。

D&M Holdings Inc.
Printed in China 5411 10825 10AS

engine をご使用になる前に

① engine のインストール

パソコン（Windows、Mac）に、付属の“DN-SC2900 Resource CD-ROM”を入れて engine をインストールする（☞ engine 5 ページ）。

- Windows をご使用の場合には、お使いのパソコンに Apple 社製 QuickTime をインストールする必要があります。QuickTime は Apple 社ホームページから最新版をダウンロードして、インストールしてください。
  QuickTime のバージョンは最新のバージョンを推奨します。

ご注意

- Windows パソコンに engine をインストール後はじめて起動する際、Windows セキュリティの警告ウィンドウを表示します。Windows XP および Vista の場合は「ブロックを解除する（U）」、Windows 7 の場合は「アクセスを許可する（A）」を選択してください。それ以外を選択すると、engine の PC-LINK 機能が使用できなくなります。誤って許可以外の設定をした場合は、☞ engine 6 ページの「インストール後の初回起動時の注意点」をご覧ください。
- セキュリティソフトを使用しているパソコンの場合、設定によって警告ウィンドウを表示する場合がありますので許可する設定にしてください。誤って許可以外の設定をした場合は、お使いのセキュリティソフトのサポート窓口にお問い合わせください。

② engine の初期設定

engine の初期設定をおこないます（☞ engine 15 ページ）。
初期設定は必ずおこなってください。

③ DJ 演奏の準備

必要に応じて、DJ 演奏の前に次の設定や準備ができます。

1. **engine への音楽ファイルの登録**

- お使いのパソコンに保存された音楽ファイルを engine のライブラリに登録することにより、タグ情報による楽曲検索機能やクレート、プレイリストによるファイル分類ができます。1 つの USB メモリーまたは 1 台のハードディスクにつき最大 100,000 件のファイルの管理が可能です（☞ engine 17 ページ）。
- iTunes から engine ライブラリに音楽ファイルやプレイリストを読み込むことができます。また、engine ライブラリに登録していなくても、iTunes の音楽ファイルを本機で再生できます。

ご注意

engine には CD から音楽データを取り込む機能はありません。

2. **再生補助情報の準備**

- engine は音声波形情報、ビートポイント情報、BPM 情報を自動生成します（☞ engine 16 ページ）。
- ライブラリに登録した音楽ファイルに対して、キューポイントおよびループポイント情報を事前に設定できます（☞ engine 22 ページ）。

3. **再生用 USB メモリーやハードディスクの準備**

本機に接続して使用する USB メモリーやハードディスクの準備をおこないます（☞ Owner's Manual 19 ページ）。

④ engine と本機をネットワーク接続する

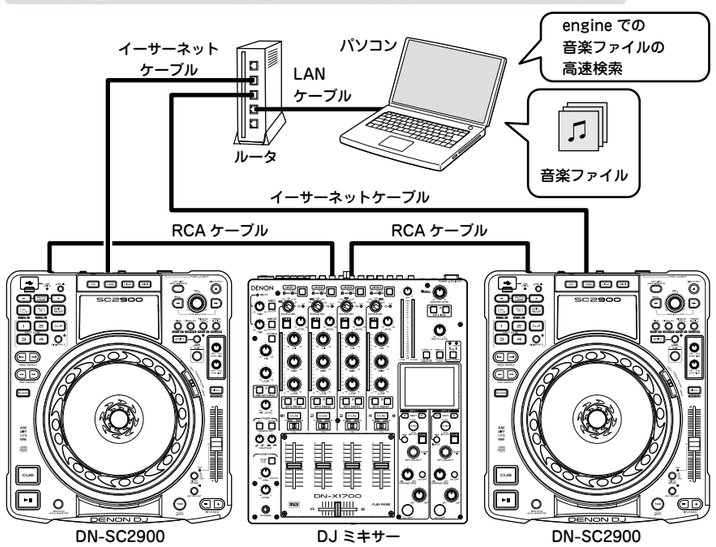
次の手順で、最大 4 台の本機とパソコンを簡単にネットワーク接続できます。
ネットワーク接続の前に必ずおこなってください。

1. **本機間で曲を共有するために Network ID を設定する（Player Link）（☞ Owner's Manual 30 ページ）。**

2. **engine と本機をネットワーク接続する（PC Link）（☞ Owner's Manual 30 ページ）。**

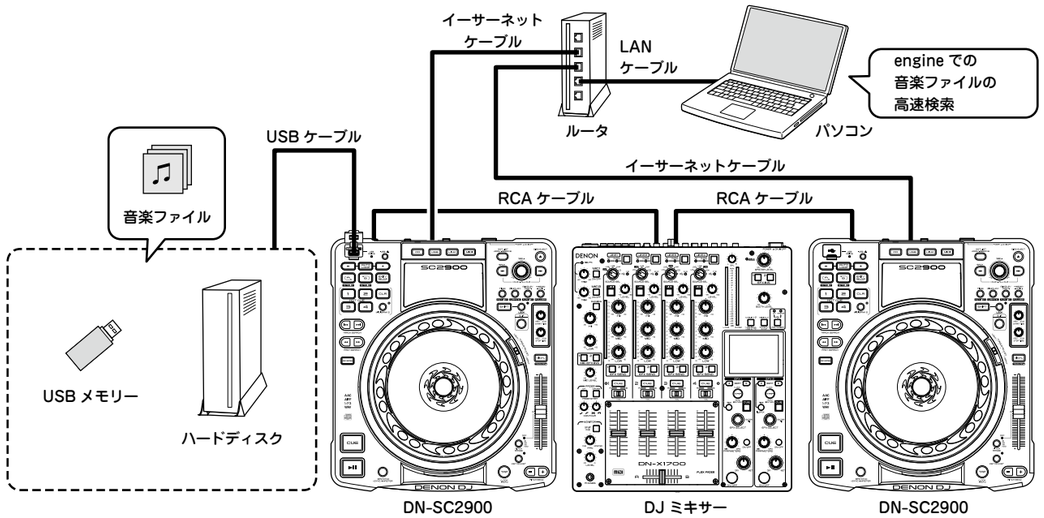
engine を使用したシステム構成

使用例 ① パソコンに保存している音楽ファイルを再生する



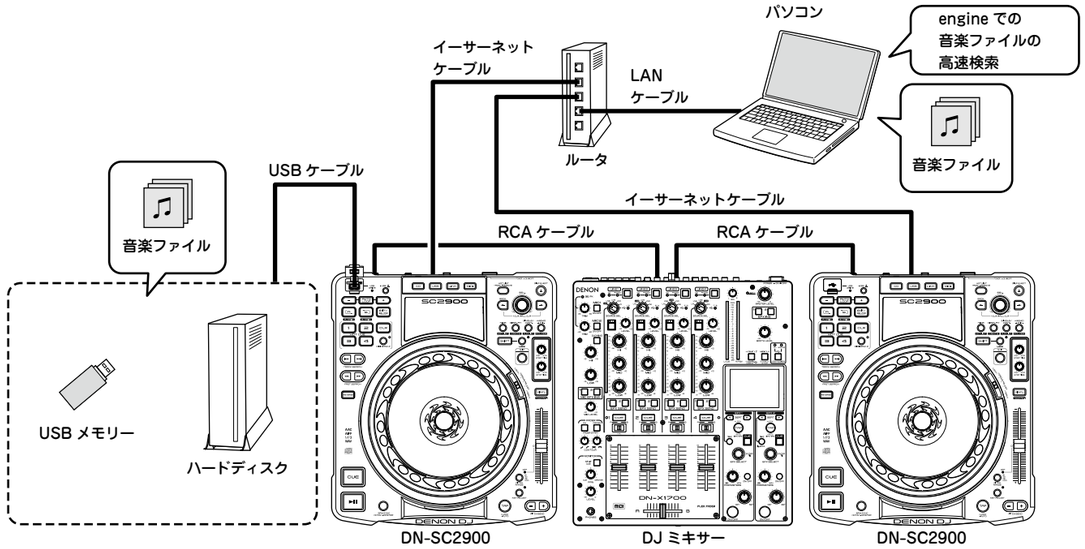
- 本機と engine をインストールしたパソコンをイーサーネットケーブルで接続することにより、engine は PC Link モードになります（☞ Owner's Manual 15 ページ）。
- パソコンに保存している engine ライブラリに登録済みの音楽ファイルを engine を使って高速で検索し、本機にロードして再生できるようにします（☞ engine 17 ページ）。

使用例 ② USB メモリーやハードディスクに保存している音楽ファイルを再生する



- engine で準備した USB メモリーやハードディスクを使用して、LINK 接続している複数の本機の間で USB メモリーやハードディスク内の音楽ファイルを共有できます（☞ engine 25 ページ）。
- engine で作成したファイル検索のためのデータベースや、再生補助情報を使用できます（☞ engine 30 ページ）。
- engine で準備した USB メモリーやハードディスクを使用した場合、パソコンが無くても DJ 演奏ができます。
- USB メモリーやハードディスクに保存している音楽ファイルは、engine によるデータベースがない場合でも、本機のフォルダサーチ機能を使用して再生できます。

使用例 ③ パソコンおよび USB メモリーやハードディスクに保存している音楽ファイルを切り替えながら再生する



- 使用例 ① と ② の機能を同時に使用することで、本機に接続した USB メモリーやハードディスクをパソコンのバックアップとして使用できます。
  パソコンがフリーズしたときなどに、本機に接続している USB メモリーやハードディスクの音楽ファイルを代わりに再生できるため、音楽を止めずに DJ 演奏を続けることができます。
- DJ の交代やリクエストなどに対応できます。